

いてふ

一般財団法人 防府消化器病センター

防府胃腸病院 広報誌

防府胃腸病院

2019年1月 第21号



年頭所感

一般財団法人 防府消化器病センター 防府胃腸病院長 三浦 修

新しく平成 31 年を迎えましたが、今年は年号が新しく変わる年でもあります。この大きな時代の変化の中で、**地域医療構想**と**地域包括ケアシステム**をキーワードとした、医療提供体制の再編が進行中です。当院も、昨年 12 月より入院病床の半数である 60 床を地域包括ケア病棟へ移行させ、従来の急性期病床機能を維持しつつ、ポストアキュート、サブアキュート機能を含めた、幅の広い、より全人的な医療を進めるべく病棟機能の再編を行いました。

従来、当院で取り組んで来なかった、**リハビリテーション**という概念を取り込むことで、より早く、より質の高い周術期を含めた回復を目指すことができ、結果的に早期退院を目指すことができます。新しいリハビリ科のスタッフも、創意工夫をしつつ、急性期病院の中でのリハビリテーションという位置付けを確固たるものにするべく毎日汗を流しています。

肛門外科の開設も、当院にとっての大きな変革と言えます。周南市で長い診療実績を持つ宇都宮高賢先生をお迎えできたこと、さらに肛門疾患の診療と治療を当院に取り入れたことで、消化器専門病院としての診療の幅と役割が大きく広がる体制となります。今後、当院における消化器診療体制全体に対しても、大きな牽引力となってくれるものと思います。

国は 2025 年に向け、持続可能な経済財政の基盤を作ろうとしています。社会保障費の自然増の抑制のために、さらなる医療・介護のサービス提供体制の適正化、効率化を推し進めてきます。その中で、病院として、医療従事者として何が出来るか、課題は大きいと思われます。医療・介護提供体制の適正化、効率化が進む中、患者さんの診療や日常生活にとって不利益を来さないよう、医療人としての資質と明確なビジョンが求められます。



肛門外科 ^{うつのみや} 宇都宮 ^{たかよし} 高賢 医師 着任挨拶

日本大腸肛門病学会（専門医、指導医）、日本レーザー学会（専門医、指導医）
日本外科学会（専門医）、日本消化器外科学会（認定医）

本年度より、月、水、金午前中、肛門疾患に関する診療を周南市の診療所を閉鎖し防府胃腸病院にて開始いたしました。しばらくは、慣れないところで診療いたしますので、患者様にはご迷惑をおかけいたしますが、御了承いただきたいと思っております。肛門疾患に関する手術、術後合併症に関する治療を行うとともに、肛門痛、便秘、便失禁に関する治療をひき続き行っていきます。思えば昭和47年卒業以来、医療に携わる者として診療、研究に熱中し論文発表にいそしみ、あっとゆう間に年齢がかさみ、このまま診療を続ければ今までの蓄積がただのごみ屑になると思ひ、少しでも後に残すことができればと思ひ最後の仕事場としてこの場を選びました。



肛門疾患は従来、先祖伝来の腐食療法による治療が行われたのも事実ですが、現在はより安全な手術療法に加え硬化療法、結紮療法があり、腐食療法はなくなりました。裂肛の治療も、従来内括約筋切開術、皮膚移動術を行ってききましたが、女性では高齢になると括約筋機能低下が急激に起こりますし、皮膚移動術では変形が残ります。変形がなく括約筋の機能低下を起こすことのない治療法を開発し、現在行っています。痔瘻に対する治療はヒポクラテスの時代より行われている治療が現在でも漫然と繰り返されていますが、治療方法は千差万別で、各施設で工夫されて行われています。しかし、再発が少なく、肛門の変形をなくした肛門再建術を行っている先生が少ないのが実情です。

最近では、排便後の清潔のため洗浄機をトイレにつけている家庭が増えてきています。しかし、使用方法を誤って使っている人が多く、そのために肛門疾患が増えてきているのが事実です。清潔にする部位はあくまで皮膚部位のみであることを知っておかないと肛門を反対に傷めることとなります。洗浄水を肛門内に入れると直腸粘膜を保護している粘液を洗い流すために、直腸粘膜の炎症をきたし出血、浸出液の増加をきたし漏れが生じることになり肛門周囲の糜爛、搔痒を発症する人や炎症のため残便感が強く便秘症状を訴える人が増えていきます。洗浄水と直腸内の便が肛門腺に入ると肛門周囲膿瘍をきたし痔瘻化する人も増えていきます。便座の洗浄機の使用は注意が必要です。このように肛門疾患の治療の入り口にかかったところで、まだわからないことが多く、解明していくことが多く残っていますが、年齢を考えると、今までの治療法を引き続き継承、改善していただき、さらなる研究、治療の発展を期待し、私も残り人生でどこまで迫ることができるかわかりませんが、頑張っていきたいと思っています。

肛門外科 診療日： 月曜日 水曜日 金曜日

	受付時間	診療時間
午前	午前 8 時～	午前 8 時 30 分～
午後	午後 1 時 30 分～	午後 2 時 30 分～

※午後は手術等が中心となりますので、外来受診については当日お問い合わせください。

当院では、**地域包括ケア病棟**の開設にともない、医療的処置のある方で、介護保険のショートステイが利用できない方を対象に、短期的な**レスパイト入院**の受け入れを開始しました。

お電話でのお問い合わせも対応いたしますが、所定の申込用紙にて FAX でも承ります。かかりつけ医の診療情報提供書を添えていただきます。当院の**リニューアルホームページ**にてご案内しております。詳しくはホームページ、「医療関係者の方へ」をご参照くださいませ。

入院申込方法

- ・申込は在宅医(かかりつけ医)、訪問看護ステーション、ケアプラン事業所からの予約申込が必要です。
- ・初回申込時には下記お問合せ先にご連絡のうえ、レスパイト入院についてご相談ください。
- ・レスパイト入院申込時は「**レスパイト入院 予約申込書**」(ホームページよりダウンロード可)に記入して頂き、地域医療連携・相談室へ FAX をお願いいたします。
- ・レスパイト入院申込時は事前に在宅医(かかりつけ医)にご相談して頂き、予約申込書と一緒に「**診療情報提供書**」の FAX をお願いいたします。
※原本はご入院当日に受付でお渡しください。
- ・入院受け入れが決定しだいご連絡いたします。
- ・ベッドの空き状況によりご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

お問合せ先 **地域医療連携・相談室** TEL : 0835-22-3339 (代表) FAX : 0835-25-8754

第 124 回健康公開講座のご案内

昨年末にもご案内いたしました。第 124 回の健康公開講座は来る 2 月 8 日 (金)、「**話せばわかる”は幻想です～新橋芸者さんのコミュニケーション術～**」と題して、**加藤紘先生**にご講演いただきます。

加藤紘先生は山口大学医学部長ならびに山口大学学長を歴任され、現在は日本医療研究開発機構医薬品研究課プログラム・スーパーバイザーをお務めです。

ご講演の間には加藤先生をリーダーとする **Jazz トリオ そよ風**の演奏もお聞かせいただけます。音楽を聴きながらコミュニケーション術について学んでみませんか。先生の研究テーマでもあった「母性愛オキシトシン」やお知り合いの芸者さんの裏話など、とても興味深いお話が聞けそうです。たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。

“話せばわかる”は幻想です ～新橋芸者さんのコミュニケーション術～

講師 **山口大学名誉教授 加藤 紘 先生**

2019 年 2 月 8 日 (金) 19:00 開演 アスピラート 3 階

演奏予定曲目

愛の賛歌 セントルイスブルース

シチリアーナ アゲイン 恋人よ我に帰れ 他



外来診療予定表

(2019年1月7日～)

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1診	松岡	三浦	三浦	松岡	三浦	交代制
	2診	藤原 9:00～	柿本 (1・3・5週)		藤原 9:00～		交代制
	3診	柿本	竹尾	竹尾	三浦	松岡	交代制
	5診	鴨打	松岡	柿本	竹尾	鴨打	
	6診	南園	戸田 9:00～	南園	鴨打	柿本	
	肛門外科	宇都宮		宇都宮		宇都宮	
午後	1診	戸田	休診	戸田	休診	戸田	休診
	肛門外科	宇都宮(※)	休診	宇都宮(※)	休診	宇都宮(※)	休診

	診療日時	受付時間	診療時間
平日	午前	8:00～11:00	8:30～
	午後(月・水・金)	13:30～16:30	14:00～
土曜日	午前	8:00～11:00	8:30～

※ 肛門外科：午後は手術等が中心となりますので、外来受診については当日お問い合わせください。
土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。
土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。
出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。
担当医が不在の場合は代替りの医師にて診療を行います。



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33

TEL : 0835-22-3339 (代表)

H P : <http://www.hofu-icho.or.jp>

■交通機関のご案内

【電車】 JR 防府駅よりバス 2分 (防府市役所前下車)

または JR 防府駅より徒歩 10分

【バス】 防府市役所前下車

【お車】 山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10分

★地域医療連携・相談室から★

2019年2月から責任者が変更となります。引き続き、当室では地域連携や在宅医療の充実を図り、患者様が住み慣れた場所でその方らしく生活できるようサポートいたします。お気軽にご相談ください。

TEL:(0835)22-3339 (代表) FAX:(0835) 25-8754 (直通) 担当: 中村・金子・三宅

編集後記

2019年が始まり、巷では「平成最後の」という枕詞が沢山聞かれるようになりました。昭和生まれが新しかった時代もありましたが、平成生まれが少しセピア色になるのももうすぐでしょうか。師走に引き続き、激走が続く防府消化器病センターですが、心を亡くさないよう、忙しげな毎日を心暖かく過ごしたいものです。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局長 栗林 左知